

## みんなの広場



ボシ灯ろうの柔らかな光が美しくゆらめいていました



一つ一つ丁寧に点火



幻想的な川沿いの景色

## 大川内山でボシ灯ろう祭りと地酒小路

## 幻想的な光と華やかな浴衣が彩る夏の夜

大川内山でボシ灯ろう祭りがありました。ボシとは本窯を焚くときに焼き物を入れる耐火性の器で、灯ろうに見立てたボシに灯された火が幻想的な空間を演出しました。またこの日は、大川内山を浴衣姿で散歩しながら地酒や料理を楽しむイベント『地酒小路』も開催され、参加者は風情豊かな夏の夜のひとときを思い思いに楽しみました。



伊万里焼の器で「乾杯」



窯元の軒先で地酒を楽しむ

## 第33回カブトガニの産卵を観る会

## 『生きた化石』に見て触れて学ぶ

多々良海岸でカブトガニの産卵を観る会が開催されました。市内外から訪れた多くの参加者は、伊万里高校の理化・生物部の生態説明を受けたあと、砂浜近くで産卵するカブトガニの様子を観察しました。また、この日は市内の小・中学生と高校生が飼育した約700匹の幼生の放流も行われ、無事に成長することを願いながら放流していました。



7.23

↑カブトガニを間近で観察しながら説明を受ける子どもたち

## 市長と語ろう『伊万里の夢づくり』座談会

## 地域と一緒につくる伊万里の未来

松浦公民館と南波多公民館で、市長と語ろう『伊万里の夢づくり』座談会がありました。松浦公民館では路線バス廃止後の交通手段や松浦町に整備するスポーツ・レクリエーション施設などについて意見を交換。南波多公民館（7月25日）では今後の伊万里ふるさと村の位置づけや白野北交差点付近の交通渋滞対策などの質問がありました。



7.19

↑スポ・レク施設の概要を説明する塚部芳和市長（左）（松浦）



### 地球に触れる夏休み in 伊万里

## 身近に感じる地球の大切さ

市民図書館で地球に触れる夏休み in 伊万里がありました。これは、地球温暖化などの環境問題やその対策を楽しみながら学んでもらおうと、県と市が主催し県地球温暖化防止活動推進センターが実施したものです。来場者はさまざまな工作や実験を行う日替わり体験や環境に関するクイズラリーへの参加などを通して、環境にやさしい活動を学びました。



大気の循環や地球温暖化が進んだ未来を映すデジタル地球儀



↑ 8月1日の日替わり体験はソーラーモーターカー作り

### せいらサマースクール『ジュニアフォトグラファーズ』 今日から私も写真家に

大川内小学校で行われた『せいらサマースクール』の中で、『ジュニアフォトグラファーズ』がありました。これはカメラメーカーのキャノンが各地で開催している写真教室で、佐賀県では今回が初めてです。講師からカメラの扱い方などの説明を受けた子どもたちは、校庭に出て思い思いに風景や生き物などを撮影。写真の楽しさを実感したようです。



↑ 草地に生息する昆虫を撮影する子どもたち

### 中国・大連市から青少年訪問団が来伊

## 新たなる出逢いが未来を創る

7月30日と31日、中国・大連市との友好交流30周年を記念した青少年交流事業があり、大連市少年宮の団員43人が来伊しました。31日は伊万里・有田焼伝統産業会館で市内の小学生と一緒に焼き物の絵付けを体験したあと、大川内山を散策。黒川公民館では、うちわ作りやアジャタをして交流を深め、演舞などの披露もありました。



さすがの筆遣いで力作を完成させていた大連の子どもたち



↑ 華麗な演舞の披露に市内の小中学生は驚いていました

### 伊万里サマーキャンプ

## 大自然と異文化の中でたくましく

沖縄県であった伊万里サマーキャンプに10人の小学生が参加しました。2日目、子どもたちは渡嘉敷島のきれいな海でスーパーフロートなどを体験。野外でのキャンプにも挑戦しました。ほかにも、ひめゆり平和祈念資料館で戦争と平和について考えたり、豊見城市の子どもたちとエイサーを通じて交流したりするなど、充実した6日間を過ごしました。



↑ スーパーフロートを使って渡嘉敷島の海を泳ぐ参加者